

看取り期及び死後のグリーフケア基礎研修

入居者の家族や介護職員の悲しみと寄り添うために！！

施設サービス、在宅サービス問わず看取り介護のニーズが高まっています。ニーズの高まりに伴い、看取りケアに取り組む施設が多くなってきています。在宅サービスにおいても、27年度の介護保険制度改正の中核である地域包括ケアの推進により、看取りケアのニーズが増していくはず

しかし、看取りケアの体制は、(施設系サービス、在宅系サービスともに)事業所により大きな差があるようです。看取りケアの体制が整っていないことで、利用者本人のみならず、ご家族、介護従事者にとって精神的負担が重くなっているケースも多いのではないのでしょうか？

看取りケアを実施する過程で、ご家族や介護従事者の心も揺れ動くのは通常よくあることです。そして、利用者が旅立った後も不安、孤独、寂しさ、罪悪感、自責感、無力感に苛(さいな)まれます。事業所においては、そのことで、大切な介護職員が介護の仕事から離れてしまうこともあります。また、どんなに看取りケアの経験があるベテランであっても、連続して体験することで精神的なダメージを受けることがあります。

グリーフケア(悲嘆のケア)は家族や介護職員等看取りケアに取り組んだ人が、看取りの体験を整理することによって、ダメージを和らげ、回復を図ろうとするものです。

本研修では、グリーフケアの基本を学び、看取り期から死後における介護従事者の仕事(ケア)に対する考え方や姿勢(向き合い方)を見つめ直します。看取りケアに関わる現場の職員(リーダー層も含め)全てに必要なカリキュラムに致しました。ご家族と職員の精神的なサポート体制を構築する一助にしていただければ幸いです。

受講生の声：●グリーフケアを知ることが出来た●具体的な経験も交えてもらいとても分かりやすかった●施設での取り組みに繋がれそうです●もっと、先生の話を知りたい●日頃のケアでもグリーフケアが大切だと分かった●若い職員にも伝えなければならない内容でした●他の方も同じ悩みを抱えていて、安心した●職員を守るためにグリーフケアは重要ですね●寄り添うことの大切さを改めて感じました●いろいろな方の経験談を聴けて良かった●どう対応すればよいのか考える機会になった●早く実践してみたい etc

12/4 9:30~16:30 受講費 10,800円

	題目	内容
①	看取りケア	①看取りケアの基本②看取りケアの考え方
②	グリーフの理解	①グリーフについて②看取りケアにおけるグリーフの特徴
③	グリーフケアの実際	①グリーフケアの基本②グリーフケアの方法
④	グリーフケアの考え方とまとめ	①組織におけるグリーフケアの取り組みに向けて

講師紹介

山田 美代子氏

西片医療福祉研究会代表

東京都リハビリテーション病院、自治医科大学附属病院等にて、MSWとして勤務後、現職。専門領域 ソーシャルワーク(医療及び災害、ケアマネジメント、スーパービジョン)。ルーテル学院大学大学院附属 包括的臨床死生学研究所にて、ターミナル期におけるグリーフワークプログラムである「臨床死生学トレーニングプログラム(CTTP)」修了(2013)。日本医療社会事業協会 実習指導者研修運営委員、災害ソーシャルワーク研修講師 <社会福祉学修士・社会福祉士・介護支援専門員・介護予防主任運動指導員>

申込方法：電話、ファックスにて受付いたします。締切：全て先着順になります(70名)

問合せ先：お茶の水ケアサービス学院 事務局 TEL：03-3863-4000

受講対象：介護従事者等どなたでも受講可能

研修会場：お茶の水ケアサービス学院(東京都千代田区岩本町1-10-3 神田駅徒歩10分)

ファックス 03-3863-4006

お名前	フリガナ	事業所名	
住所	(〒 -) (事業所・自宅)		
TEL		FAX	e-mail

※お申し込み後(申込日を1日目とします)、7日目以降のキャンセルについては、お振込前でも受講料の半額がかかります。

また、申込日に拘らず、11/20以降のキャンセルについては全額のキャンセル料がかかりますのでご注意ください。

※キャンセルのご連絡がない場合は、キャンセル扱いにはなりませんのでご注意ください。